

# 太郎池遺跡Ⅱ

富田林市遺跡調査会報告7

編集・発行 富田林市遺跡調査会

住所 〒584-8511

富田林市常盤町1番1号

発行年月日 1997年8月31日

調査地 大阪府富田林市寿町4丁目813-1

調査原因 共同住宅建設

調査主体 富田林市遺跡調査会

調査担当者 平方扶左子

調査面積 188㎡

調査期間 1997年4月25日～8月31日

## はじめに

太郎池遺跡は、市内の中央部にあって、国道170号線（大阪外環状線）と旧国道170号線に挟まれた、大阪府立河南高等学校の南側の中段段丘面上に広がっています。その規模は、南北400m、東西600mに及びます。1986年の住宅建設に先立って実施された大阪府教育委員会の試掘調査によって新規に発見されました。これまでの調査で、弥生時代から中世にかけての遺跡であることが分かっています。

1986年の大阪府教育委員会の発掘調査で、自然流路と考えられる溝が検出され、その後1992年・1995年の富田林市教育委員会が実施した発掘調査によっても、同様の溝が検出されました。

今回の調査は、建物部分について、事業主である道族真利子氏の協力を得て行いました。

## 地形と層序

太郎池遺跡は、羽曳野丘陵と中段段丘面との接点付近の、北西から南東へ向かう傾斜面に立地しています。今回の調査地は、市道甲田3号線の北側、府立河南高等学校の南側に位置しています。

発掘調査は南北47m、東西4mのトレンチ調査で行いました。

堆積層は上から順に、第1層（盛土）、第2層



図1 太郎池遺跡調査地位置図

（耕土）、第3層（床土）、第4層（灰色土）、第5層（黄灰色土）、第6層（濁黄灰色弱粘質土）、第7層（濁黄灰褐色弱粘質土）で、水田面は3面検出されました。それらを取り除くと地山面に達し、遺構はすべてこの面で検出されています。

## 遺構と遺物

今回の調査では、溝、ピット2を検出しました。溝 調査区全体に検出され、北西部と南西部で肩を検出しました。正確な規模は確認できませんでした。深さは、深いところで約0.76mを測ります。堆積は14枚分層できましたが、大きく分けると、3層に分かれます。第1層は弱粘質土層、第2層目は混雑粘質土層、第3層目は砂質土層です。遺物は、1層目から須恵器の坏身片2点、坏蓋片1点、土師器片3点が出土しています。2層目からは須恵器の坏身片1点、坏蓋片1点、甍片1点、土師器片2点が出土しています。3層目からは須

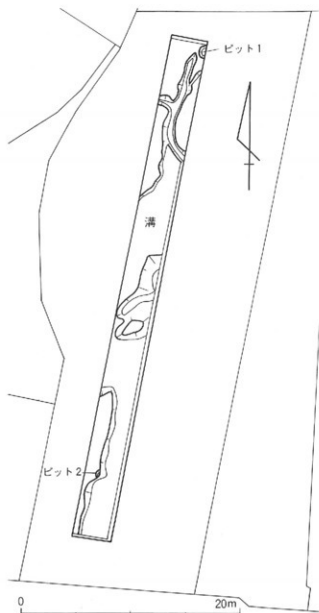


図2 溝配置図

恵器片1点、ササカイト1点が出土しています。  
 ピット1 調査区北側で検出しました。規模は、南北0.8m、東西0.5m、深さは0.12mの隅丸方形です。埋土は灰色土で、遺物は出土していません。  
 ピット2 調査区南側で検出しました。規模は、南北0.2m、東西0.2m、深さは0.06mの円形です。埋土は暗灰褐色混礫粘質土で、遺物は出土していません。

#### まとめ

調査地周辺では、1986年大阪府教育委員会が、

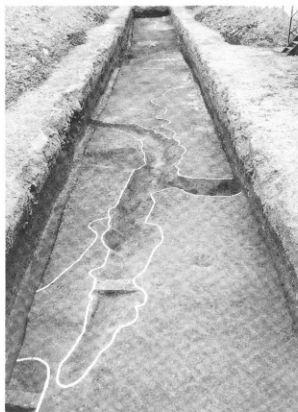


写真1 調査区全景(北から)

1992年、1995年には富田林市教育委員会が発掘調査を行っています。いずれの調査でも、自然流路と考えられる溝を検出しています。

今回の調査地は、1995年に発掘調査を行ったすぐ西側にあたります。調査区の南西部と北西部で溝の肩を検出しました。また、調査区中央部には流れの中心と思われる深い部分が認められ、西から東に流れていたことが分かりました。1995年の調査では、調査区北西から南東にかけての、蛇行した流れが検出されており、今回の溝はこれに合流し、大きな流れの方向は自然地形に沿って、西の羽曳野丘陵から東の石川に向かっていたと推測されます。さらに川岸付近では、約2～5cmの円形及び楕円形の哺乳動物の足跡が検出されました。自然流路が機能していた時期は分かりませんが、中世には流路としての機能が失われ、一帯が水田化されました。

#### 参考文献

『跡穂遺跡発掘調査概要』—富田林跡穂所在—  
 大阪府教育委員会(1986)



写真2 調査区全景 (南西から)



写真3 調査区東壁断面 (北西から)

# 報告書抄録

ふりがな	たろういけいせき							
書名	太郎池遺跡							
副書名	富田林遺跡調査会報告7							
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著書名	平方扶左子							
編集機関	富田林遺跡調査会							
所在地	〒584-8511 大阪府富田林市常盤町1番1号 ☎0721-25-1000							
発行年月日	西暦1997年8月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
たろういけいせき 太郎池遺跡	おおさかふたのりんぢやし 大阪府富田林市 ことぶきちょう 寿町4丁目 813-1	2714		34° 29° 38°	135° 35° 40°	1997.4.25 \n 1997.8.31	188	共同住宅 建設
所収遺物	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
太郎池遺跡	その他	古墳時代～	自然流路・ピット		土師器・須恵器・瓦器・サヌカイト			